



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

巡回街宣や市政報告会で、「長岡市政の問題と地域要望が次々に出される」

合併地域の課題解決と要望実現を！



9/1 お話する遠藤れい子

「路線バスがだんだん少なくなつて、病院や買い物に行くにも不便だ。何とかしてほしい。」

「平和は大事。被災資料館」

「支所機能が縮小された。もっと、合併地域に力を入れてほしい。」

「米づくりがたいへん。農業後継者を増やす具体的な施策と支援を」

「原発再稼働は絶対許せない。再稼働ストップの強い姿勢を貫いてほしい。」

「学校給食費は無償に。」

「冬期間は中之島中学校にスクールバスを運行してほしい。」

中之島で、小国で

「中心市街地振興が重視されて、合併地域は衰退している?！」

栃尾で、寺泊で、



8/28 県に要望する中沢市議、川辺市議と遠藤れい子

はしっかりと整備して。」

「長岡大花火大会は継続・充実をはかつて」

魚沼医療圏の医療体制の充実と医師の増員を求めて県に申入れ

こうした合併地域の声に寄り添った市政運営を求めていきます。

8月28日、遠藤れい子は南魚沼市の川辺市議、中

沢市議と一緒に「魚沼医療圏の医療体制の充実と医師の増員」を求め県に申入れを行いました。県の担当者は、既存病床数が地域保健医療計画の基準病床数を下回っていることを認めざるを得ませんでした。

南魚沼市では、患者が年間100人を超えて県外に行か

8月31日、長岡アオーレで開かれた「平和のための戦争展」を觀賞しました。15年続いている催しです。

長岡を焼き尽くした焼夷弾の弾頭、出征兵士にあてた日の丸の寄せ書き、長岡空襲を生きのびた方の記録画など、展示物が、「正義の戦争などない!」と静かに私たちに語りかけています。

ホールで上映された中村哲さんの「荒野に希望の灯をともし」を見ました。まさに憲法

遠藤れい子の笑顔でファイト

9条を実践された医師である。「暴対暴では平和はない。」

戦争展で、中村哲さんの平和に徹した生き方に涙



8/31 戦争展の展示の前で遠藤れい子

「人間も自然のなかの一つ。自然を少し活用させていた。だき、水があれば植物を育て、栄養が取れば8割の病気はなくなる。」と、大干ばつのアフガニスタンで水路を建設し、緑溢れる農地に変えた。「豊かになれば争いはなくなる。」の言葉に涙が溢れてきました。

ざるを得ない実態があります。高齢になつても暮らし慣れた所で入院したいのは当たり前前の願い!「医療体制を整えてほしい」と強く要望しました。また、国の責任による医師派遣制度の創設を強く求めました。